

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・経営企画室

事業名	業務継続計画による減災対策の推進	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額
		20,295	8,955	8,503	
事業概要	【目的】	債務負担行為	期間		要求額(千円)
	大規模災害発生時において、必要最小限の業務を継続しつつ、目標期間内に一定水準までの復旧を終える。		R ~ R		
	【内容】	主な要求内容 (単位:千円)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・通信手段の拡充等により導入した「テレビ会議システム」及び「MCA無線」を継続して運用する。 ・19大都市水道局災害相互応援に関する覚書に基づく訓練のほか、他都市で実施されている訓練への参加(視察)を行う。 ・BCPに基づく訓練の実施 ・外部講師による危機管理研修の実施 	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等
		テレビ会議システムに係るリース費用	3,851	3,815	
		防災行政無線修理負担金	500	500	
		MCA無線利用料	3,000	3,028	
		19大都市水道局災害相互応援に関する覚書に基づく訓練ほか	1,604	1,160	
		合計	8,955	8,503	
	【今年度要求のポイント】	スケジュール(経過及び今後展開)			
堺市で浜松市、岡山市、仙台市と合同で水道防災訓練を実施	【経過(～元年度)】	【2年度】	【今後予定(3年度～)】		
	通信手段の導入 ・テレビ会議システム(H28・8拠点) ・MCA無線(H29・104台) ・テレビ会議システム(1拠点追加) 組織改正に伴うBCP見直し	通信手段の拡充 ・フリーアドレス化導入後のシステム追加導入等の検討 ・BCPに基づく訓練の実施			
	その他 特記事項				
	関連事業:				

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 7-2

局・課名： 上下水道局・経営企画室

事業名	双方向コミュニケーションの確立 ・お客様との協働体制の拡充	事業費(千円)	平成30年度決算額 303	令和元年度予算額 500	令和2年度要求額 500	
		債務負担行為	期間 R ~ R	要求額(千円)		
事業概要	<p>【目的】</p> <p>上下水道事業の取組や料金等についてお客さまの理解を得るとともに、事業に参加いただき、お客さま視点を効率的かつ効果的に事業運営に反映させることで、お客さまとのパートナーシップを形成し、お客さまサービスを向上する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堺市水循環学習講座「みずからセミナー」、その修了者を対象としたワークショップを開催するなどし、上下水道応援団「すいちゃんサポーター」を拡充していく。 ・広報プロジェクトによる、新たな広報の企画・実施。 ・お客様の声の集約及び分析・広聴体制の整備 ・その他市政モニター制度等を活用した広報・広聴活動の推進 <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>平成28年度から実施している堺市水循環学習講座「みずからセミナー」について、効率化を図る。その上で、ワークショップ等を通じ、お客さまが局の応援団(サポーター)となるよう協働体制の拡充に向けた取組を進める。 広報プロジェクトによる活動を本格化させていき、新たな手法による広報の企画、実施していく。 そのほか、平常時・非常時における広報広聴体制の強化を図る。</p>	主要要求内容 (単位:千円)				
		項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等	
		セミナー、ワークショップ関係(バス代、記念品等)	500	500		
			合計	500	500	
スケジュール(経過及び今後展開)						
<p>【経過(～元年度)】</p> <p>堺市水循環学習講座(みずからセミナー)の開催(H28～)</p> <p>サポーター制度を用いたワークショップの開催(H29～)</p>		<p>【2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報プロジェクトによる、新たな広報の企画の実施。 ・お客様の声の集約及び分析・広聴体制の整備 		<p>【今後予定(3年度～)】</p> <p>広報・広報活動の継続実施</p>		
その他 特記事項						
関連事業:						

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号 7-1

局・課名： 上下水道局・事業サービス課

事業名	債権回収の強化	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
				711,072		719,855
事業概要	【目的】	債務負担行為		期間	要求額(千円)	
	公平公正な徴収業務の更なる充実による経営基盤の強化			R ~ R		
	【内容】	主な要求内容 (単位:千円)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金及び下水道使用料の徴収 ・水道料金及び下水道使用料の滞納整理並びに債権管理 ・水道料金及び下水道使用料の滞納事案に係る法的措置等 ・水道料金の滞納事案に係る給水停止 ・水道料金及び下水道使用料の減免、更正、過誤納金の処理等 ・水道メーター検針・料金徴収等業務委託の履行管理 	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等	
		検針・徴収等業務	719,855	725,113	水道メーター検針業務等を含む	
	【今年度要求のポイント】	合計		719,855	725,113	
	<p>水道料金等弁護士対応未収金回収業務について、今回の契約から、上下水道料金、環境整備資金貸付金及び受益者負担金を委託することとし、契約期間も5年間の複数年契約とした。</p>	スケジュール(経過及び今後展開)				
【経過(～元年度)】 ・水道メーター検針・料金徴収等業務の履行 ・口座振替推奨業務の実施		【2年度】 ・水道メーター検針・料金徴収等業務の履行 ・口座振替推奨業務の実施	【今後予定(3年度～)】 ・水道メーター検針・料金徴収等業務の履行 ・口座振替推奨業務の実施			
その他 特記事項						
関連事業： 水道メーター検針、料金徴収等業務 平成29年4月～令和4年9月 水道料金等弁護士対応未収金回収業務 令和2年4月～令和7年3月						

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号 7-1

局・課名： 上下水道局・給排水設備課

事業名	水洗化促進	事業費(千円)		平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
				5,357	1,773	1,113	
<p>【目的】</p> <p>下水道接続率（水洗化率）を向上させることにより、下水道使用料収入を確保し、安定した経営基盤の構築に努めるとともに、公衆衛生向上及び公共用水域の水質保全を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>・供用開始後、下水道未接続の家屋に対して、速やかな接続を促進するため、戸別訪問による接続確認と水洗化促進を行う。また、水道開栓時において、下水道未接続の家屋に対する接続確認を実施する。</p> <p>事業概要</p> <p>・汚水排水量の多い事業者等に対する水洗化促進を図るため、実効性のある啓発を行う。</p> <p>・長期未水洗建物に対しても啓発を行い、水洗化を促進する。</p> <p>・文化住宅等の所有者に対し、郵送により、水洗化を促進する。</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>・公示後3年目を迎える未水洗建物への水洗化促進の業務委託は未水洗対象が減少する。今年度からは局職員により結果データ入力を実施するため、要求額を減額した。</p> <p>・長期未水洗建物所有者への水洗化意識の希薄化防止と指定工事業者制度の周知を図る。</p>	債務負担行為		期間		要求額(千円)		
			R ~ R				
	主な要求内容				(単位:千円)		
	項目		元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	供用開始日データ作成業務		836	869	水洗化促進付帯業務		
	水洗化促進結果入力業務		693	0	供用開始3年を迎える未水洗建物が減少、直営で実施		
	「水道メーター検針・料金徴収等業務」報奨金		50	50	業務委託者が水道開栓業務外で公共下水道無届接続を発見した際の報奨金		
	水洗化促進啓発チラシ		71	76	水道メーター検針時に投函するチラシ		
	水洗化促進郵便料金		123	118	「改造通知書」、「促進啓発チラシ」等送付		
	合計		1,773	1,113			
スケジュール(経過及び今後展開)							
<p>【経過(～元年度)】</p> <p>大口事業者への文書による指導 直営による公示後3年目の未水洗建物への水洗化促進の訪問(R1年度:171件) 業務委託による長期未水洗建物への促進文書投函による水洗化啓発 業務委託による水道開栓訪問時の接続調査 文化住宅等の所有者に対し促進チラシを郵送</p>		<p>【2年度】</p> <p>大口事業者への文書による指導 直営による公示後3年目の未水洗建物への水洗化促進の訪問(R2年度予定:24件) 業務委託による長期未水洗建物への促進文書投函による水洗化啓発 業務委託による水道開栓訪問時の接続調査 文化住宅等の所有者に対し促進チラシを郵送</p>		<p>【今後予定(3年度～)】</p> <p>未水洗建物の所有者に対して、「改造通知書」、「改造報告書」による厳格な指導を行う。</p>			
その他 特記事項							
<p>関連事業： 事業サービス課「水道メーター検針・料金等徴収業務」委託</p>							

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7

局・課名： 上下水道局・水道サービスセンター

事業名	配水支管(φ300mm以下)の更新	事業費(千円)		平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
				2,169,247	2,910,797	2,801,070	
【目的】 法定耐用年数(40年)を超過し経年劣化(法定耐用年数を超過した管路の内、老朽化したもの)した配水支管について、延命化を図りつつ、計画的に更新し耐震化することで施設を健全に保つ。 【内容】 事業概要 ・法定耐用年数(40年)を超過し経年劣化した配水支管を、計画的に更新し耐震化を図る。 ・令和2年度は、優先耐震化路線の構築事業を含み、22.5kmの配水支管を更新する。 【今年度要求のポイント】 漏水事故の発生による影響が大きい路線や、他部署と施工調整を行い効率的に水道工事後の舗装を行うことができる路線を選定し、施工する。	債務負担行為	期間		要求額(千円)			
		R2 ~ R3		2,186,000			
	主な要求内容				(単位:千円)		
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等			
	配水支管更新および緊急連絡管整備	2,910,797	2,801,070				
		合計	2,910,797	2,801,070			
スケジュール(経過及び今後展開)							
【経過(～元年度)】		【2年度】		【今後予定(3年度～)】			
堺市水道ビジョンに基づき、優先耐震化路線の構築事業を含み、22km/年の配水支管を更新		堺市水道ビジョンに基づき、優先耐震化路線の構築事業を含み、22.5kmの配水支管を更新		堺市水道ビジョンに基づき、優先耐震化路線の構築事業を含み、22.5km/年の配水支管を更新			
その他 特記事項							
関連事業： 優先耐震化路線の構築							

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・水道サービスセンター

事業名	優先耐震化路線の構築	事業費(千円)		平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
				888,674	1,228,500		1,389,810
【目的】 小中学校・高等学校等の避難所や病院等までの特定の配水支管を優先的に耐震化することによって、地震発生時にも給水を確保する。 【内容】 大規模な地震発生時に避難所等への給水を確保するために、幹線管から分岐して避難所等までの特定の管路を優先耐震化路線と位置づけて耐震化する。 【今年度要求のポイント】 優先耐震化路線の耐震化率は、令和元年度末で76%を見込んでおり、令和2年度に6.8kmを施工し、令和2年度末での優先耐震化路線の耐震化率82%を目指す。	債務負担行為	期間		要求額(千円)			
		R2 ~ R3		1,124,000			
	主な要求内容						(単位:千円)
	項目		元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	優先耐震化路線の整備		1,228,500	1,389,810			
	合計		1,228,500	1,389,810			
スケジュール(経過及び今後展開)							
【経過(～元年度)】 対象路線の内91.1kmが整備完了済みで令和元年度末に96kmとなる見込み		【2年度】 堺市水道ビジョンに基づき、6.8kmを整備		【今後予定(3年度～)】 堺市水道ビジョンの年次計画に基づき整備			
その他 特記事項							
関連事業： 配水支管(φ300mm以下)の更新							

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	配水池の耐震化事業	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
		0	141,972	40,000		
事業概要	【目的】	配水池は水道施設の中核として、震災時においても機能を保持することが必要なことから、計画的に耐震化事業を推進する。	債務負担行為		期間	要求額(千円)
			R2 ~ R6	4,160,000		
	【内容】	主な要求内容 (単位:千円)				
		項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等	
		配水池耐震化事業(施工)	57,000	0	岩室高地配水池	
		配水池耐震化事業(設計)	84,972	0	家原寺配水場	
		配水池耐震化事業(工事)	0	40,000	家原寺配水場	
		合計	141,972	40,000		
		【今年度要求のポイント】	スケジュール(経過及び今後展開)			
		・家原寺配水場配水池更新工事を行う。(令和2～6年度)	【経過(～元年度)】 ・岩室高地配水池超高池築造工事(平成28～令和元年度) ・家原寺配水場実施設計業務(平成30～令和元年度)	【2年度】 ・家原寺配水場配水池更新工事(令和2～6年度)	【今後予定(3年度～)】 ・家原寺配水場配水池更新工事(令和2～6年度)	
	その他 特記事項					

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号 1-7 局・課名： 上下水道局・水道サービスセンター

事業名	鉛製給水管の取替推進	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
		39,968		52,800	52,200	
【目的】 水道水の安全性を高めるとともに、鉛製給水管からの漏水を未然に防止する。 【内容】 ・経年劣化(法定耐用年数を経過した管路の内、老朽化したもの)した配水支管の更新において、鉛製給水管が多く残存している路線を優先的に更新することで早期に鉛製給水管を解消する。(事業費は、配水支管の整備事業に含まれる。) ・配水支管の更新が当面の間計画されていない路線において順次鉛製給水管を解消する。(令和2年度200件見込) ・道路上の鉛製給水管の取替工事に要する費用の一部を補助金として助成する。(令和2年度年度 10件見込) ・鉛製給水管所有者に個別通知を実施する。(令和2年度5,000件見込・費用は漏水調査に計上) ※鉛製給水管解消・・・配水支管に接続されている鉛製給水管をポリエチレン管に取り替える行為 【今年度要求のポイント】 ・道路上に残存する鉛製給水管の解消を図るため、単独取替事業を継続して実施する。 ・私道等に残存する鉛製給水管についても、解消に向けた取組を継続する。	債務負担行為 期間 R2 ~ R3 要求額(千円) 4,100					
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	鉛管の単独取替	50,800	50,200			
	鉛製給水管取替工事補助	2,000	2,000			
	合計	52,800	52,200			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～元年度)】 当該事業における道路上鉛製給水管解消件数 平成29年度 298件 平成30年度 205件 令和元年度 272件(見込)		【2年度】 単独取替による鉛製給水管解消計画件数 210件(補助金による解消10件含む) 鉛製給水管所有者に個別通知実施		【今後予定(3年度～)】 当該事業で210件/年度 (補助金による解消10件含む)		
その他 特記事項						
関連事業：						

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7 局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	電源の確保	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額
		1,504		191,913	3,000
【目的】 自家発電設備の整備等により、災害時等の断水時間を短くする。また、配水管理センターは、災害時等でも上水道施設の拠点として、稼働させる。 【内容】 令和2年度は以下の工事を実施する。 ・家原寺配水場自家発電設備更新ほか工事(債務負担R2～3) 令和2年度は以下の保守点検を実施する。 ・管生配水池ほか自家発電設備保守点検業務 【今年度要求のポイント】 ・家原寺配水場の自家発電設備を更新することにより、配水管理センターの非常用電源として使用するだけでなく、災害時等でも水道施設の拠点として稼働が可能となる。合わせて発電容量を抑えるため、配水管理センターの無停電電源設備をダウンサイジングし更新する。 ・管生配水池、さつき野配水池、家原寺配水場における自家発電設備並びに移動電源車発電機保守点検を実施する。	債務負担行為 期間 R2 ～ R3 要求額(千円) 260,000	主な要求内容 (単位:千円)			
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等	
	自家発電設備・移動電源車点検整備	1,650	3,000		
	岩室高地配水池自家発電設備設置工事	185,263	0		
	配水管理センター自家発電設備更新工事実施設計業務	5,000	0		
	家原寺配水場自家発電設備更新ほか工事	0	0	(債務負担R2～3)	
	合計	191,913	3,000		
スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～元年度)】 岩室高地配水池自家発電設備設置(H30～R1)		【2年度】 ・家原寺配水場自家発電設備更新ほか工事(債務負担R2～3) ・管生配水池ほか自家発電設備保守点検業務		【今後予定(3年度～)】 家原寺配水場自家発電設備更新により、配水管理センターの非常用電源を確保	
その他 特記事項					
関連事業： 機械電気計装設備の更新					

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号 1-7 局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	配水池の維持管理	事業費(千円)	平成30年度決算額 16,503	令和元年度予算額 24,862	令和2年度要求額 184,000
		債務負担行為	期間 R ~ R		要求額(千円)
事業概要	【目的】 委託業者による内部劣化度調査(試験による調査)を実施し、適正管理することで配水池の長寿命化を実現させ、安全かつ安定した良質な水道水を供給する。また、水道施設を適切に維持管理するための場内整備工事等を行う。	主な要求内容 (単位:千円)			
	【内容】 ・配水池の内部劣化度調査を計画的に行う。 ・配水場等について外部からの進入を防止するなど適切に維持管理するために工事を行う。	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等
		配水池内部劣化度調査業務	18,862	0	
		陶器配水場などフェンス設置工事	6,000	57,000	陶器・岩室配水場
		浅香山配水場場内整備工事		127,000	
		合計	24,862	184,000	
【今年度要求のポイント】 ・浅香山配水場、陶器配水場等でブロック塀撤去後のフェンス設置工事などを行う。	スケジュール(経過及び今後展開)				
	【経過(～元年度)】 ・配水池内面調査業務2か所	【2年度】 ・配水場等維持管理工事(実施設計、工事施工)	【今後予定(3年度～)】 ・配水池内面調査業務1か所(R3) ・配水場等維持管理工事(工事施工)		
	その他 特記事項				
	関連事業:				

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7

局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	機械・電気・計装設備の更新	事業費(千円)		平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
				19,884	229,700	202,000	
【目的】 機械・電気・計装設備を計画的に更新することにより、施設の健全度を保ち、安定した給水を行う。 【内容】 事業概要 ・劣化した設備を更新し安定給水を図る。また、設備の点検結果に基づき長寿命化を図る。 ・令和2年度は、晴美台配水場、浅香山浄水場で、老朽化した電磁流量計の更新を行う。また、桃山台配水場、陶器配水場の無停電電源装置、直流電源装置を更新する。 【今年度要求のポイント】 ・晴美台配水場、浅香山浄水場で、老朽化した電磁流量計の更新を行い、流量管理の精度を向上させる。 ・桃山台配水場、陶器配水場の無停電電源装置、直流電源装置において、設備容量を現設備に合わせたダウンサイジングを検討し、更新する。	債務負担行為		期間	要求額(千円)			
			R ~ R				
	主な要求内容		(単位:千円)				
		項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
		機械・電気・計装設備更新工事	229,700	202,000			
		合計	229,700	202,000			
スケジュール(経過及び今後展開)							
【経過(～元年度)】		【2年度】		【今後予定(3年度～)】			
岩室配水場、家原寺配水場にて設備更新		・晴美台配水場流量計更新ほか工事 ・桃山台配水場無停電電源装置更新ほか工事		老朽化した電磁流量計の更新(桃山台配水場ほか)			
その他 特記事項							
関連事業:							

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 2-6 局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	水質の管理	事業費(千円)		平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額		
				43,898	41,579	51,868		
事業概要	<p>【目的】 ・水質監視の強化、水道GLPの認定を受けた水質検査体制の確保等により、安全でおいしい水をお客さまへ供給する。</p> <p>・給水末端等の定期箇所における洗浄排水および他部署等からの依頼による事前洗管を実施することで、水質を保持する。また、洗浄排水状況の分析・評価を行い、効率的・効果的な洗浄排水を目指す。</p> <p>【内容】 ・水道GLPに基づき、水質検査を正確かつ精度よく実施する体制を維持し、信頼性の高い検査結果を得ることで、水道水の品質を確保し、お客さまへの信頼度を向上させる。</p> <p>・配水末端での配水管の滞留水の排水作業を行い、給水区域内の水質を保持する。</p> <p>・配水管洗浄排水1,300箇所/年実施(定期及び依頼)</p> <p>【今年度要求のポイント】 ・給水区域内の水質を保持するため、配水末端での配水管の滞留水の洗浄排水作業を、委託業務として行う。</p>	債務負担行為	期間	要求額(千円)				
			R ~ R					
		主な要求内容		(単位:千円)				
		項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等			
		水質検査業務	13,089	23,378				
		配水管洗浄排水業務	28,490	28,490				
			合計	41,579	51,868			
スケジュール(経過及び今後展開)								
【経過(～元年度)】 ・水道GLPの認定更新 ・配水管洗浄排水及び水圧調査業務(委託.債務負担H30～R2)		【2年度】 ・水道GLPの認定維持 ・配水管洗浄排水及び水圧調査業務(委託.債務負担H30～R2)		【今後予定(3年度～)】 ・水道GLPサーベイランス受審 ・配水管洗浄排水及び水圧調査業務(委託.債務負担R3～5)				
その他 特記事項								
関連事業：								

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般

マスタープラン： 3つの挑戦

施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・水運用管理課、水道サービスセンター、給排水設備課

事業名	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
			46,039	134,649	57,148
【目的】 市民生活に不可欠な水道・下水道の管理者として、災害に対する平時からの備えを充実することにより、災害対応力を強化し、もって市民生活の安全・安心の確保を図る。 【内容】 応急給水対策の強化 ・災害発生時に、避難所(小学校)敷地内の水道設備が破損した場合においても応急給水が実施できるように、耐震性を有した災害時給水設備を小学校に設置する。 ・「自助・共助」の力が育まれるよう、校区防災訓練等、市民が多く集まる場において、飲料水備蓄の啓発を行う。 ・東日本大震災の教訓から交通障害を考慮し、災害用備蓄水の指定避難所への分散備蓄を継続して実施する。 【今年度要求のポイント】 ・小学校に災害時給水設備を設置し、応急給水機能を確保する。 ・応急給水対策を強化するための取組を継続的に実施する。	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
		R2 ~ R3		11,000	
	主な要求内容		(単位:千円)		
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等	
	応急給水ポリ袋	6,545	6,545		
	災害用備蓄水製作負担金等	3,504	3,483		
災害時給水設備設置事業	34,600	33,150			
応急給水基地改修等	90,000	0			
加圧式給水車の買替	0	13,970			
合計	134,649	57,148			
スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～元年度)】 ・当該事業における災害時給水設備設置数 58件(見込含む) ・給水基地改修の施工を実施		【2年度】 ・当該事業における災害時給水設備設置計画数 17件		【今後予定(3年度～)】 当該事業における災害時給水設備設置計画数 令和3年度 19件 令和4年度 6件	
その他 特記事項					
関連事業:					

整理番号 : - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 5-1

局・課名： 上下水道局・水運用管理課

事業名	受水圧力を利用した送水システムの整備・小水力発電施設の設置(水道施設における温室効果ガス削減)	事業費(千円)	平成30年度決算額 456,694	令和元年度予算額 14,000	令和2年度要求額 10,000	
		債務負担行為	期間 R2～ R3	要求額(千円) 34,000		
【目的】 ・現在、岩室配水場から高池用と超高池用のポンプで岩室高地配水池へ送水している。企業団が布設する河南連絡管に新分岐を設置し岩室高地配水池で企業団から直接受水することにより、CO2及び電力量を削減する。また、岩室高地配水池が岩室配水場と新分岐の2系統受水となり、事故時のバックアップを可能とする。 ・陶器配水場に小水力発電設備を設置することで、CO2の削減と、発電した電力を売電することで収入を確保する。 【内容】 事業概要 ・企業団の管整備に合わせて新分岐を設置し、高池で直接受水できるように管整備等を行う。 ・陶器配水場ほか電気設備設置工事など小水力発電設備設置に関する工事がH30年度で完了。(R1年度から売電実施。)	主な要求内容 (単位:千円)					
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	陶器山分岐工事負担金	14,000	0			
	実施設計	0	10,000	他の設計業務含む		
		合計	14,000	10,000		
【今年度要求のポイント】		スケジュール(経過及び今後展開) 【経過(～元年度)】 小水力発電設備設置に関する工事の完了 【2年度】 実施設計 【今後予定(3年度～)】 場内配管工事、企業団による負担金工事など				
場内配管工事のための実施設計をR1～R2年度の債務負担で実施する。		その他 特記事項 関連事業：				

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7

局・課名： 上下水道局・水道サービスセンター

事業名	水道管路の維持管理		事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
				533,391	654,364	637,436	
【目的】 お客さまに安全安心な水道水を継続的・安定的に供給する。 【内容】 ・水道管漏水の修理など迅速な維持管理 ・漏水の早期発見、漏水量を抑制する漏水調査（管路調査210km 戸別音調調査28,401戸） ・弁栓類機能維持の保守点検（調査150基） ・長寿命化を図る水管橋の点検業務（調査138橋 塗覆装2橋） 【今年度要求のポイント】 ・漏水の早期発見および迅速な修理に取り組む ・保守点検による水道施設の適正な維持管理	債務負担行為	期間		要求額(千円)			
		R2 ~ R3		122,000			
	主な要求内容			(単位:千円)			
	項目		元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	水道管の維持管理等		514,137	509,003	漏水修繕、修繕跡舗装		
	その他水道管路維持管理業務		140,227	128,433	漏水調査、水管橋、弁栓点検等		
	合計		654,364	637,436			
	スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～元年度)】 H29～31年の複数年契約した水道管調査修繕業務(道路敷・敷地内)で当該業務を継続実施		【2年度】 R2～4年度で新たに複数年契約した水道管調査修繕業務の実施。弁栓類、水管橋の調査点検、漏水調査の実施		【今後予定(3年度～)】 R2～4年度で契約した水道管調査修繕業務を実施			
その他 特記事項							
関連事業:							

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-7

局・課名： 上下水道局・下水道事業調整課

事業名	公共下水道の雨水対策事業	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
					3,696,957	3,778,900
【目的】 集中豪雨に対する安全度の向上、浸水情報の収集・提供を充実させるとともに、日頃から大雨に備える体制を築くことにより、雨に強いまちを実現する。 【内容】 ・雨水整備事業・・・時間約50mm対応の施設を優先的に整備すべき「重点地区(24地区)」への浸水対策事業の推進 ・総合的な治水対策・・・開発行為等の際に雨水流出抑制施設の設置指導等の実施 【今年度要求のポイント】 古川第2ポンプ場の建設工事(出島・西湊町周辺地区、戎島町周辺地区、神南辺町周辺地区)や、今井周辺地区、大美野周辺地区を継続して実施する。	債務負担行為	期間		要求額(千円)		
		R2 ~ R4		1,352,000		
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	雨水管整備(雨水調整池含む)	2,031,000	2,397,500	雨水管布設工事等		
	雨水ポンプ場整備	1,428,000	2,270,000	ポンプ場建設工事等		
	設計、移設補償費等	319,900	298,500	実施設計、移設補償費等		
	合計	3,778,900	4,966,000			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
	【経過(～元年度)】 ・重点地区雨水施設整備の実施 ・雨水貯留タンク設置普及促進の実施		【2年度】 ・重点地区雨水施設整備の実施		【今後予定(3年度～)】 ・重点地区雨水施設整備の実施	
その他 特記事項						
関連事業:						

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号 1-7 局・課名： 上下水道局・下水道事業調整課

事業名	下水道地震対策事業	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
		561,012		902,500	448,000	
【目的】 災害時に未処理の下水がまちの中にあふれたり、河川や海に流出したりすることもなく、衛生的な環境が保たれる等、震災に強いまちを実現する。 【内容】 ・重要な下水処理場施設の耐震対策の実施 事業 ・重要な管きよの耐震対策の実施 概要 ・指定避難所等へのマンホールトイレの設置 【今年度要求のポイント】 ・処理場・ポンプ場施設について土木施設の耐震対策の検討を実施する。 ・下水道管きよについて、避難所と水再生センターを結ぶ管きよ並びに軌道下及び緊急輸送路下に埋設されている管きよのうち、未耐震区間の耐震化工事を実施する。 また、都市再生緊急整備区域である堺東駅西地域の耐震化を実施する。	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
		R ~ R	0			
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	下水処理場、ポンプ場耐震化等	125,500	108,000	耐震補強検討等		
	管きよ耐震化等	777,000	340,000	管きよ耐震化工事等		
		合計	902,500	448,000		
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～元年度)】 ・重要な処理場施設・ポンプ場施設や管きよの耐震対策の実施 ・マンホールトイレの設置		【2年度】 ・重要な処理場施設や管きよの耐震対策の実施 ・マンホールトイレの設置		【今後予定(3年度～)】 ・重要な処理場施設・ポンプ場施設や管きよの耐震対策の実施 ・マンホールトイレの設置		
その他 特記事項						
関連事業：						

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号： 2-6

局・課名： 上下水道局・下水道施設課

事業名	設備のアセットマネジメント・下水道施設の アセットマネジメント(下水道処理場等施設改築事業)	事業費(千円)	平成30年度決算額 2,181,787	令和元年度予算額 4,281,000	令和2年度要求額 4,131,000	
		債務負担行為	期間 R2 ~ R4	要求額(千円) 3,760,000		
事業概要	<p>【目的】</p> <p>計画的な改築更新を行うことで、下水道サービスを持続的に提供し、下水道が安定的に機能するまちを実現する。</p> <p>【内容】</p> <p>・下水道処理場・ポンプ場施設の改築更新工事と必要な実施設計業務の実施</p> <p>・堺市版アセットマネジメントシステム(設備)に基づく、次年度の改築更新事業の選定及び点検データの蓄積</p> <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>経年劣化が進行している施設・設備のうち、優先度・重要度の高い、処理場、ポンプ場の監視制御設備・沈砂池設備・雨水ポンプ設備・受変電設備の更新工事等を実施する。</p>	主な要求内容 (単位:千円)				
		項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等	
		下水ポンプ場 設備更新工事等	750,000	1,474,000	実施設計及び更新工事	
		下水処理場 設備更新工事等	3,531,000	2,657,000	実施設計及び更新工事	
			合計	4,281,000	4,131,000	
スケジュール(経過及び今後展開)						
<p>【経過(～元年度)】</p> <p>・改築更新工事の継続実施</p>		<p>【2年度】</p> <p>・改築更新工事の継続実施</p>		<p>【今後予定(3年度～)】</p> <p>・改築更新工事の継続実施</p>		
その他 特記事項						
関連事業:						

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 2-6

局・課名： 上下水道局・三宝水再生センター

事業名	設備のアセットマネジメント・下水道施設の アセットマネジメント(下水道処理場等維持管理業務)	事業費(千円)	平成30年度決算額 2,926,461	令和元年度予算額 3,302,971	令和2年度要求額 3,586,169
		債務負担行為	期間 R2 ~ R3	要求額(千円) 96,000	
【目的】	下水道施設の適切な維持管理により、日常生活や社会経済活動から発生する汚水を適切に排除・処理し、大雨や震災等から市民の生命と財産を守ることで、安全・安心で快適な暮らし及び都市機能の保全を実現する。	主な要求内容 (単位:千円)			
		項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等
【内容】	事業概要 ・下水道処理場、ポンプ場の適正な維持管理業務の継続実施 ・泉北及び石津水再生センターの維持管理に係る包括的民間委託の継続実施	処理場維持管理費	1,532,853	1,733,047	水再生センター施設維持管理業務の委託料等
		ポンプ場維持管理費	336,833	422,584	ポンプ場施設維持管理業務の委託料
		汚泥処理負担金	1,433,285	1,430,538	維持管理負担金、承継債務負担金
		合計	3,302,971	3,586,169	
【今年度要求のポイント】	・泉北、石津水再生センターの施設運転管理は、引き続き包括的民間委託等による効率化を継続して実施する。 ・運転管理の工夫により、電力費・薬品費の削減を図るなど、省エネルギー化の取組みを継続して実施する。	スケジュール(経過及び今後展開)			
		【経過(～元年度)】	【2年度】	【今後予定(3年度～)】	
		・三宝の施設維持管理は、29年度から3か年契約の実施 ・石津・泉北の施設維持管理は、30年度から5か年契約の実施 ・施設の健全度評価の実施 ・コンポスト事業の契約終了に伴い、単公の汚泥全量の処理を大阪府に委託	・三宝の施設維持管理は、1か年目の実施 ・石津・泉北の施設維持管理は、3か年目の実施 ・健全度評価に基づく、修繕計画の見直し	・処理場・ポンプ場関連施設の適正な維持管理の継続実施	
その他 特記事項					
関連事業:					

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 2-6

局・課名： 上下水道局・下水道管路課

事業名	下水道管きよのアセットマネジメント	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額		
		1,466,415	3,000,369	2,763,870			
事業概要	【目的】	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
	<p>下水道管きよの適切な維持管理を行うことで、日常生活や社会経済活動から発生する汚水を適切に排除し、大雨や震災等から生命と財産を守ることで、市民の安全・安心で快適な暮らし及び都市機能の保全を実現する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道管きよ(水路やマンホールポンプ施設等を含む)について、日常点検や市民からの要望等をもとに、清掃や修繕、事故対応等を実施する。 ・管路施設の維持管理業務について、包括的民間委託(西部管内(堺区・西区)を除く)を継続して実施する。 ・計画的な老朽管調査(テレビカメラ調査等)を行い、著しく劣化が進行している管きよ等の改築更新を実施する。 <p>【今年度要求のポイント】</p> <p>老朽管調査及び著しく劣化が進行している管きよ等の改築更新工事を継続して実施する。</p>	R2 ~ R3	843,000				
		主な要求内容		(単位:千円)			
		項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
		下水道管の維持管理費	767,269	795,870	下水道管きよの修繕費や清掃費		
		改築更新工事	2,108,000	1,809,900	老朽管改築更新工事等		
		老朽管調査	125,100	158,100	老朽管調査業務等		
		合計	3,000,369	2,763,870			
		スケジュール(経過及び今後展開)					
		【経過(～元年度)】		【2年度】		【今後予定(3年度～)】	
・老朽管調査及び改築更新工事の実施		・老朽管調査及び改築更新工事の実施		・老朽管調査及び改築更新工事の実施			
その他 特記事項							
関連事業:							

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 2-6

局・課名： 上下水道局・下水道建設課

事業名	下水道施設の統廃合	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
		291,000		470,000	30,000	
【目的】 処理場間ネットワークを段階的に構築することで改築更新の対象施設を重点化し、改築更新費を最低限に抑えることにより、下水道の持続的かつ安定的なサービスを提供する。 【内容】 石津処理区内の一部を三宝処理区へ編入するため、一部区間の管きよの設計・工事を実施する。 事業概要		債務負担行為		期間	要求額(千円)	
				R2 ~ R5	3,000,000	
		主な要求内容 (単位:千円)				
		項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等	
		処理場間ネットワーク	470,000	30,000	工事費	
			合計	470,000	30,000	
		スケジュール(経過及び今後展開)				
		【経過(～元年度)】 ・ネットワーク管の設計・工事の実施	【2年度】 ・ネットワーク管工事の実施	【今後予定(3年度～)】 ・ネットワーク管工事等の実施		
	【今年度要求のポイント】					
	・古川第2ポンプ場と三宝水再生センター間について、ネットワーク管の工事を実施する。					
		その他 特記事項				
		関連事業：				

整理番号： - -

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 2-6 局・課名： 上下水道局・下水道建設課

事業名	事業費(千円)			
里道・私道の汚水整備	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
	87,500	265,000	372,000	
【目的】 下水道整備により、日常生活や社会経済活動から発生する汚水を適切に排除することで、衛生的に暮らせるまちを実現する。 【内容】 ・里道、私道の未布設路線への私道公共下水道布設制度による布設決定及び私道排水設備工事補助金制度による普及促進の実施 ・里道、私道の汚水管布設工事の実施 【今年度要求のポイント】 里道・私道部分の整備については、地元との合意がとれた地区を優先的に整備するなど、重点的な汚水整備を実施する。	債務負担行為	期間	要求額(千円)	
		R2 ~ R3	192,000	
	主な要求内容			(単位:千円)
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等
	私道下水管布設調査啓発業務	3,000	3,000	合成図等の資料作成及び修正等
	私道排水設備工事補助金	84,000	144,000	補助金(私道等)
	里道・私道汚水整備	110,000	55,000	下水管布設工事
	設計、移設補償費、舗装工事等	68,000	170,000	実施設計等
	合計	265,000	372,000	
	スケジュール(経過及び今後展開)			
【経過(～元年度)】	【2年度】	【今後予定(3年度～)】		
・里道・私道汚水整備の実施	・里道・私道汚水整備の実施	・里道・私道汚水整備の実施		
その他 特記事項				
関連事業:				

整理番号： - -